

秋田市教委 小中校の給食で提供 これが「秋田の枝豆アイス」



秋田市内の小中学校の給食で、秋田市産の枝豆を使用した「秋田の枝豆アイス」が提供された。アイスはJA秋田なまはげ(本店秋田市)や秋田商工会議所など4団体でつくる秋田市有望産品商品開発協議会が開発。市内産の枝豆「ゆかた娘」をペーストにして配合し、男鹿市産の塩を加えることで枝豆の甘さを引き立てた。

旭北小学校(三浦亨校長、207人)では、1月28日の給食で枝豆のうまみが詰まったアイスを味わった。2年生のクラスでは、アイスが配られると児童たちは「おいしそう」「枝豆のにおいがする」と興味津々な様子で手に取り、「甘くておいしい」「もっと食べたい」と言いながら次々と口に運んだ。

佐藤碧さんは「枝豆のつぶつぶが入っているのがおいしかった。枝豆そのものを食べているみたいだった」と笑顔を見せた。

給食への提供は1月26日～30日に実施された。子どもたちに市内の農産物への理解を深めてもらうことを目的に、市教育委員会が企画した。

(佐藤千華)

(2月11日(水) 秋田さきがけ新聞から一部抜粋)